

## 競争入札経過調書（総合評価落札方式）

件 名 新潟空港対空通信設備空中線鉄塔補修その他工事

開札年月日 平成27年10月22日（落札決定日 平成27年11月6日）

開札場所 東京航空局

落札金額 ￥ 5,832,000 -

落札者 (株)近藤組

予定価格 ￥ 10,576,440 -

積算額 ￥ 10,576,440 - 入札書比較価格（予定価格の100/108） ￥ 9,793,000 -

調査基準価格 ￥ 9,378,914 - 調査基準価格の100/108 ￥ 8,684,180 -

基準評価値 1,021.1375

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値≥ 基準評価値	
(株)近藤組	110.00	5,400,000	2,037.0370	○				落札
(株)デンロコーポレーション	110.50	9,210,000	1,199.7828	○				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、総合評価による評価値の最も高い者を落札者とする。

※ 評価値は、評価点÷入札金額（億単位換算）により算出する（小数点第四位未満切捨）。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

## 低入札価格調査の実施概要

工 事 名 : 新潟空港対空通信設備空中線鉄塔補修その他工事

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社近藤組

新潟県佐渡市相川大間町 4 5

項 目	内 容
その価格により入札した理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時取引している業者から資材を仕入れることで材料費を抑えることが可能である。</li> <li>・調査対象者や協力会社が新潟空港に近いことから、諸経費の削減や天候の影響に対する迅速な対応が可能であり、また、同空港内での工事や同種工事の経験から作業手順や手続き等も熟知していることから、円滑な対応及びコスト縮減が可能であると考えます。</li> </ul>
契約対象工事附近における手持工事の状況	契約対象工事付近 10 km 圏内における手持工事はないが、30 km 圏内に5件の手持工事があり、ヒアリングを行った結果、労務者の確保に影響がないことを確認した。
契約対象工事に関連する手持工事の状況	契約対象工事に関連する手持工事はない。
契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等の関連（地理的条件）	<p>【調査対象者】</p> <p>(株)近藤組～新潟空港 距離：約3.0 km 所要時間：10分</p> <p>【協力会社】</p> <p>(株)新建ナガキタ～新潟空港 距離：約13.2 km 所要時間：27分</p> <p>(株)富岡鉄工所～新潟空港 距離：約27.7 km 所要時間：38分</p> <p>(株)上酒屋（新潟営業所）～新潟空港 距離：約15.1 km 所要時間：20分</p>
手持資材の状況	鳥居杵（杵組足場）以外は新規での購入を予定している。
資材購入先及び購入先と入札者との関係	資材購入先は3社あり、常時取引を行っている。
手持機械数の状況	本工事で使用する手持機械はない。
労務者の具体的供給見通し	<p>労務者の確保計画のなかで、当局との人数差が特に大きい直接仮設（足場設置）について調査を行った。当局積算ではクレーン付トラック（ユニック）の使用を想定していたが、調査対象者は「とび工」のみでの作業を予定しているため、労務者の確保計画は当局の想定を上回っているが、供給体制として不適切なものではないと考える。</p> <p>なお、労務単価は「平成27年度公共工事設計労務単価（基準額）」と同等程度である。</p>
過去に施工した公共工事名及び発注者	新潟空港管制塔VFR室改修工事 / 東京航空局 新潟NDB局舎撤去工事 / 東京航空局 他
経営内容	調査対象者は官公庁発注の業務を数多く受注している。
1 から10までの事情徴収した結果についての調査検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時取引している業者から資材を仕入れることで材料費を抑えることが可能である。</li> <li>・調査対象者や協力会社が新潟空港に近いことから、諸経費の削減や天候の影響に対する迅速な対応が可能であり、また、同空港内での工事や同種工事の経験から作業手順や手続き等も熟知していることから、円滑な対応及びコストの縮減が可能である。</li> <li>・労務者の確保計画及び労務単価は適切なものである。</li> <li>・多くの公共工事の施工実績があり、施工上の問題点はなかった。</li> </ul> <p>以上のことから、本工事の品質を確保できるものと判断する。</p>
公共工事の成績情報	過去の実績においては良好に施工されている。
経営状況	特に問題なし。
信用状況	特に問題なし。
その他の必要事項	特になし。